

「平成 30 年度青少年育成センター運営協議会」会議録

【日 時】平成 30 年 7 月 10 日（火）19:50 ～ 20:20

【場 所】境港市役所第 1 会議室

【出席者】門脇哲也、松本敏浩、阿部宏之、梅谷俊一、都田建輔、岩本和貴、
佐々木伸吾、望月裕之、池淵朗弘、小笠原諒、八木橋柳一、植田建造、
干山浩一、戸田隆久 （14 名・敬称略）

【欠席者】長谷川伸、山下幸夫 （2 名・敬称略）

【傍聴者】なし

【事務局】黒崎 享 （生涯学習課長兼青少年育成センター所長）、
川田 修一 （青少年育成センター副所長）、
濱田 潤 （生涯学習課課長補佐兼生涯学習係長）
大久保 亜美（生涯学習課生涯学習係）

■開 会

次第と条例について差し替え。

委嘱状交付。

青少年育成センター運営協議会の成立には委員の 3 分の 2 以上の出席が必要であるが、委員 16 名中 14 名が出席しており、この協議会は成立。

■協議事項

1. 会長及び職務代理者の選出

委員の互選により門脇哲也会長が就任。

門脇哲也会長の指名により、長谷川伸さんを第一職務代理者に、阿部宏之さんを第二職務代理者に決定。

議事進行については、条例に基づき門脇哲也会長が行う。

2. 平成 29 年度の活動報告

<会 長> 事務局からの報告を求める。

<事務局> 5 月 1 日より、育成センターの事務局はしらぎく会館に移転となった。

青少年育成センターの説明

青少年育成センターは生涯学習課が管轄しており、適応指導教室「やすらぎルーム」は教育総務課が管轄している。現在 2 つの仕事を行っている状況。

職員体制は所長 1 名、副所長 1 名、専任指導員 2 名、SSW1 名 となっている。

主な活動は以下の通り。

「いじめ・悩み相談ホットライン携帯電話」「青少年相談の固定電話」がある。青少年相談については毎月境港市報に電話番号を載せている。電話の内容については緊急性を要するものについては教育委員会に報告しているが、差し当たって緊急性のある連絡はない。センターにきた相談については教育委員会を通して学校と情報共有をしている。

◇GW・夏季・冬季街頭パトロールへの参加

今年は水木しげるロードのリニューアルに伴い、土曜夜市が開催される。パトロールの必要は検討するべき。

◇青少年育成センターだより（広報誌）の作成

◇学校等と連携をとり、小中学校の生徒指導部会などに参加

<会 長> 質疑・意見を求める

<事務局> 補足：7月14日（土）より土曜夜市が開催される。

<委 員> 警察では14日のリニューアルには警備を配置する予定であるが、毎週土曜日の夜市については、検討中。

<会 長> パトロールは子どもの出方を見て今後検討。

<委 員> 不登校の生徒はいるのか。

<事務局> 今年は少ないが、いる。様々な理由やケースがある。

<会 長> 質疑を打ち切る。

3. 平成30年度の活動計画（案）

<会 長> 事務局から説明を求める。

<事務局> 主な活動計画は以下の通り。

活動内容は例年どおり。具体的には下記のとおり。

◇活動内容

①街頭補導活動の実施

②生徒指導連絡会への参加

③高校生マナーアップさわやか運動への参加

④学校の非行防止教室等に参加

⑤育成センターだよりの発行

◇学校や関係機関との連携を密にとって活動していきたい。

◇全国青少年補導センター連絡協議会（鳥取市開催）に参加。

<会 長> 質疑・意見を求める。

<委 員> 補導の基準はどうなっているか。

<事務局> 警察ではないので補導はできないが、声掛けを行っている。

<会 長> 何かあった場合は警察が同行しているため、警察に補導してもらうことも考えている。

<事務局> ゲームセンターは子どもではなく年配の方が多い。声を掛けること自体減っている。

<会 長> 質疑を打ち切る。平成30年度の活動報告（案）はこの通り行うことを確認。

■閉 会